

令和7年度兵庫教育大学教員研修プログラムシラバス

講習ID	25063										
講習名	京都の伝統産業をめぐるフィールドワーク（国際理解教育の視点から）										
講習活用区分	<input type="radio"/> 自主研修	<input type="radio"/> 中堅教諭等資質向上研修（兵庫県、神戸市、堺市）									
	<input type="radio"/> 兵庫県15年研・20年研等、神戸市アドバンス教員研修										
実施日時	令和7年8月7日(木) 9:55～17:00								振替対応	無	
募集人数	12人		最小開講人数	3人							
実施形態・会場	対面型										
	京都伝統産業ミュージアム他					教室	未定				
対象校種	<input type="radio"/> 保育士	<input type="radio"/> 幼稚園教諭			<input type="radio"/> 小学校教諭						
	<input type="radio"/> 中学校教諭		教科指定：無		<input type="radio"/> 高等学校教諭		教科指定：無				
	<input type="radio"/> 特別支援学校教諭		<input type="radio"/> 養護教諭		栄養教諭		その他対象：				
対象職位	<input type="radio"/> 若手	<input type="radio"/> 中堅		<input type="radio"/> ベテラン		<input type="radio"/> 学校管理職		<input type="radio"/> トップリーダー			
担当講師	講師1		氏名：吉田 夏帆			所属：兵庫教育大学					
	講師2		氏名：安武 祥子			所属：特定非営利活動法人国際協力アカデミー					
	講師3		氏名：関谷 祐史			所属：関西学院大学大学院					
到達目標	①フィールドワークの作り方のヒントが得られる。 ②フィールドワークの実践事例が体感できる。 ③フィールドワークの学びの評価方法が分かる。										
講習目的・内容	本講座では、国際理解教育の視点から、京都の伝統産業や文化をめぐるフィールドワークを実施する。まずはフィールドワークの学びの視点や作り方、評価方法等について学ぶ。その上で、フィールドワーク本番では、国際的な視点から京都の伝統産業を探究されている地元の方や、その伝統産業の職人の方々より直接お話を伺い、国際理解教育の視点から京都の文化を捉え直すことを試みる。 <input type="radio"/> 探究活動を含む <input type="checkbox"/> 省察を含む										
講習計画	【時間】					【内容】					
	9:55		～	10:00		オリエンテーション					
	10:00		～	13:00		京都と伝統産業等に関する講義＋館内視察＋京コマに関するフィールドワーク（於：京都伝統産業ミュージアム）					
	14:00		～	16:30		移動＋和鏡に関するフィールドワーク（於：山本合金製作所）					
	16:30		～	16:55		フィールドワークにおける学びの振り返り					
	16:55		～	17:00		アンケート					
			～								
			～								
受講者の方へ	<ul style="list-style-type: none"> <li>各会場の空調につきまして、当日の気温等に応じて調整しておりますが、会場によっては、どうしても吹き出し口とその他の場所で温度差が出てしまいます。講習当日は体温調節のしやすい服装でお越しください。</li> <li>当日は9:50までに京都伝統産業ミュージアムにご集合ください。</li> <li>京都伝統産業ミュージアムの入館料（500円）やフィールドワークに係る交通費は、受講者負担になります。</li> <li>事前にオンデマンド課題を提示する可能性があります。</li> </ul>										
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>本講習は地域センター事業の一環として無償で行います。</li> </ul>										